

げんすい きく
元帥がいただいた菊

いま ねんまえ めいじ じだい
 今から100年前ころの明治時代。

にほん くに きた
 日本の国は、北にあ
 るロシアの国と戦争を
 しました。



東郷平八郎

ロシアからバルチッ
 ク艦隊という大変に強
 い海軍が押し寄せまし

た。世界の人々が日本は負けると思いました
 たが、その海軍を対馬の沖で破り、日本
 は勝ちました。その時、日本の海軍を指



東郷菊

揮したのが東郷平八郎
 さんで、元帥（軍人の中で
 一番偉い人）になりました。

東郷さんがイギリス
 のエドワード7世の
 戴冠式（王様になる式）に

しゅっせき とき 出席した時、ロンドンのキュー植物園
から種をいただきました。

日本にかえ帰った東郷さんは、よくあそ遊び
に行っていた百花園でその種をそだ育てる
ことにしました。

この花ははな「東郷菊」と呼ばれ、よ8月
からじゅうがつ10月ころまで、やまぶきいろ山吹色の花びら
とちやいろ茶色のかしん花芯（花のまなか真ん中）の花をさか
せます。日本の菊は、う生まれた国ははな離
れていますがなかま東郷菊の仲間です。

・ わめいはっしょう ち 百花園は東郷菊の和名発祥の地です。
注：この文では、植物の分類が同じ「属」のものを兄弟、「科」が同じものを仲間と呼びます。

百花園探検カード No003

制作 百花園サポート士隊

墨田区東向島 3-18-3 向島百花園内

協力 向島百花園創設200周年

行事実行委員会